

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公表番号】特表2014-519606(P2014-519606A)

【公表日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2014-043

【出願番号】特願2014-512932(P2014-512932)

【国際特許分類】

G 01 C 21/36 (2006.01)

G 01 C 21/00 (2006.01)

【F I】

G 01 C 21/00 H

G 01 C 21/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ナビゲーションシステムにおいて経路命令を提供する方法であって、

所定の距離よりも離れていない連続する少なくとも2つの曲がり角を決定するよう、所望の目的地へのルート情報をレビューするステップと、

決定された前記曲がり角について、ルート内の適切な時点で、前記少なくとも2つの曲がり角及び車線ガイダンスを含む口頭のコンビネーション命令をアナウンスするステップと

を有する方法。

【請求項2】

前記コンビネーション命令における個々の前記決定された曲がり角を含む別個の文書命令として、前記ルートにおいて各曲がり角をリストアップするステップ

を更に有する請求項1に記載の方法。

【請求項3】

曲がり角が完了した場合に、音声インジケーションを再生するステップ

を更に有する請求項1に記載の方法。

【請求項4】

追加情報のためのユーザコマンドを受け取り、前記ルートにおける次の曲がり角の音声命令を提供するステップ

を更に有する請求項3に記載の方法。

【請求項5】

文書命令として、決定された曲がり角について現在位置情報を取得するステップを更に有し、前記コンビネーション命令に含まれる前記決定された曲がり角は、独立した曲がり角として別個にリストアップされる、

請求項1に記載の方法。

【請求項6】

サーバコンピュータから曲がり角間の距離及び前記ルート情報を受け取るステップ

を更に有する請求項1に記載の方法。

**【請求項 7】**

携帯電話機におけるナビゲーションシステムにおいて経路命令を提供する方法であって、  
サーバコンピュータから曲がり角間の距離及びルートを受け取るステップと、  
前記曲がり角間の距離の合計を計算するステップと、  
所定の距離より小さい計算された合計を有する密接な曲がり角を特定するステップと、  
前記密接な曲がり角を单一のボイスコマンドにグルーピングし、前記密接な曲がり角の  
グループに達する前に複数の曲がり角がアナウンスされるようにするステップと、  
前記携帯電話機におけるユーザインターフェース上の文書命令において前記密接な曲がり角の夫々を別々の航路定点としてリストアップするステップと  
を有する方法。

**【請求項 8】**

曲がり角が完了した場合に、音声インジケーションを提供するステップ  
を更に有する請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 9】**

追加情報のためのユーザ入力コマンドのインジケーションを受け取り、前記ユーザ入力  
コマンドに応答して前記ルートにおける次の曲がり角の音声命令を再生するステップ  
を更に有する請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 10】**

携帯電話機におけるナビゲーションシステムにおいて経路命令を提供するシステムであ  
って、

地図アプリケーションと、

前記携帯電話機の現在位置を見つける位置決め探知器であって、衛星情報、セルタワー  
情報、又は無線送信器情報の中の 1 又はそれ以上を用いて前記現在位置を決定する前記位  
置決め探知器と、

前記地図アプリケーションと前記位置決め探知器との間にあり、それらの間でポジショ  
ニング情報をパスするオペレーティングシステムと

を有し、

前記地図アプリケーションは、曲がり角の間の距離を含むルート情報を受け取り、2 又  
はそれ以上の曲がり角を含む密接な曲がり角を計算し、該密接な曲がり角が車線ガイダン  
ス情報とともに单一の命令としてアナウンスされ得るようにする、システム。